

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 601-8104

住 所 京都市南区上烏羽角田町68番地

氏 名 佐川急便株式会社

代表取締役 笹森公彰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	佐川急便株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区桜本2丁目32番1号		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	運輸 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	44	道路貨物運送業
主たる事業 の内容	宅配便など各種輸送にかかわる事業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	kL
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車の台数	249 台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
メールアドレス			
※受付欄		※事業者番号	
		※特記事項	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	<p>当社の環境活動は、ホームページで公開しております。 URL : https://www.sagawa-exp.co.jp/sustainability/environment/</p>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

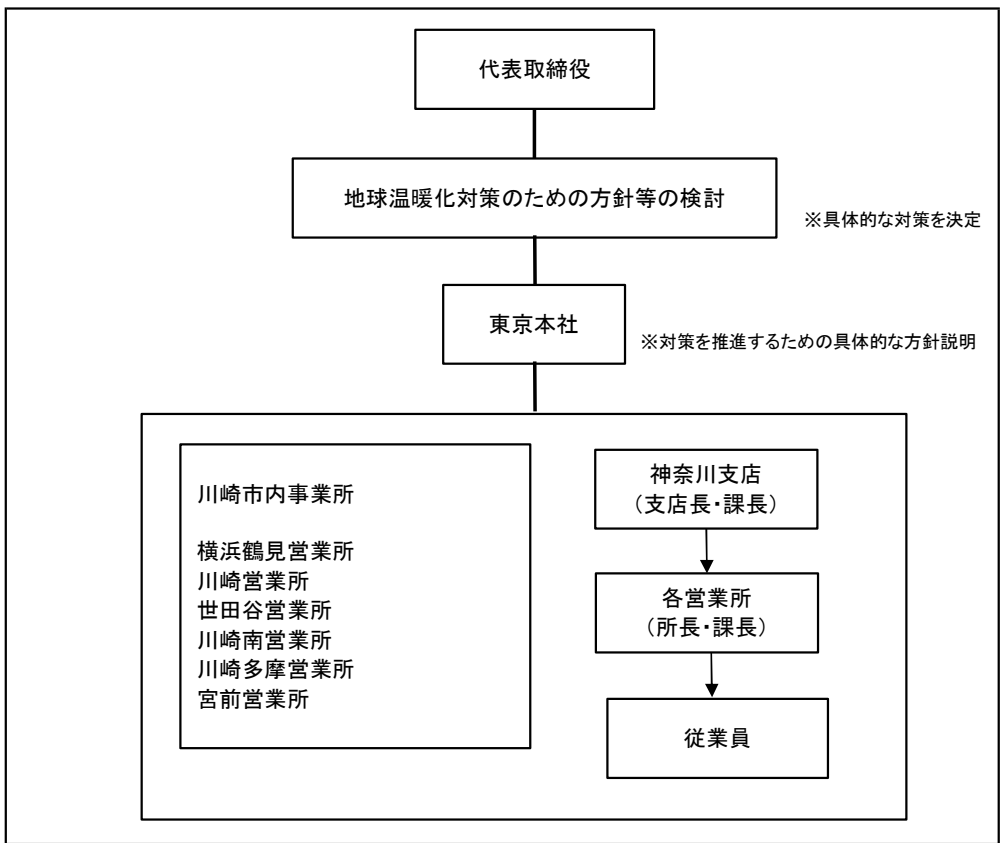
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

1. 排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するため、輸送の効率化、低公害車の導入、エコドライブの実践を推進し、環境保全のための継続的な改善を図ります。
2. 省資源・省エネルギー・3Rを推進し、循環型社会構築のために、その取り組みに対する改善、企画、提案をします。
3. 環境関連法規制、条例、協定およびその他の要求事項を順守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
4. 環境教育、啓発活動を通じて全従業員に本方針を周知し、環境活動を推進します。さらに広く一般に本方針並びに当社の環境活動に関する情報を提供します。
5. 環境目的、環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

エコドライブを徹底するため、現在、走行距離、燃料使用量等の運転に関わるデータを記録することで、運転を見える化・数値化する取り組みを行っております。一定の基準を下回った場合、指導の時間を設けるなどの改善への仕組みをつくり、PDCAサイクルを実行しています。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	2,047 2,047	(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	1,985 1,985	(基) (調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	62 62	(基) (調)	
削減	率	(基) (調)	% %	(基) (調)	3.0 3.0	(基) (調)	% %

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2021	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	1,941 1,941	(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	1,985 1,985	(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	% %	(基) (調)	-2.3 -2.3	% %	(基) (調)
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

環境啓発活動「環境行動」の実施や毎月1回の愛車Dayにおける空気圧チェックなどを行い、エコ安全ドライブに関する社内教育を推進します。また、環境対応車（ハイブリット車・電気自動車等）の導入やサービスセンターを拠点にして、トラックを使わず台車や自転車で集配作業を行うことにより、2024年度比で年1%削減、3年間に3%の二酸化炭素排出量の削減を目指します。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の保安全管理 ・エコドライブの実施 ・次世代自動車の導入 ・モーダルシフト
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

6 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項 (3号該当者等)

(1) 燃費

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
燃費 (km/L)	別紙参照				別紙参照

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	227 台
小型貨物自動車	11 台
大型バス	0 台
マイクロバス	0 台
乗用自動車	0 台
特種自動車	11 台

イ 対象自動車の内訳

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
次世代自動車	電気自動車				10台
	プラグインハイブリッド自動車				
	ハイブリッド自動車	46台			50台
	燃料電池自動車				
	その他	2台			5台
上記以外	201台				184台

(3) 乗用車の電気自動車・燃料電池自動車の導入割合

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
導入割合 (%)	0%				4%

(4) 目標設定に関する説明

軽自動車のEV化の推進、その他車両についても新型の環境対応車を順次導入予定。
--

(5) 計画期間の燃費の向上、次世代自動車導入の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する燃費の向上、次世代自動車導入等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第5及び6等を参考に記載してください。)

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の保全管理 ・エコドライブの実施 ・次世代自動車の導入 ・モーダルシフト 	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における燃費の向上、次世代自動車導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

車種別燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)					
ガソリン自動車等 1.4t未満					
ガソリン自動車等 2.2t未満					
ガソリン自動車等 2.2t以上	4.52				4.66
バス 10t未満					
バス 10t以上					
貨物 3.5t以下かつ1196kg未満					
貨物 3.5t以下かつ1196kg以上	5.83				6.00
貨物 7.5t未満	3.78				3.89
貨物 7.5t以上	3.78				3.89

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明有・計画有			
内容	<SGホールディングスグループ GHG削減目標> 2050年度：Scope3 カーボンニュートラル			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050 年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030 年度	年度	年度	年度
	46 %削減 (2013)年度比	%削減 ()年度比	46 %削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	有			
内容	<佐川急便GHG削減目標> ・2030年度： Scope1+Scope2 42%削減 (2020年度比)			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	認定済み			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	賛同済み			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	定性的な記載有			
内容	SGホールディングスグループ脱炭素ビジョン scope3: サプライチェーン全体での排出削減に取り組みます。			

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>目標年度までの計画</p>	<p>省エネコントローラーの導入や、省エネ効果の高い空調設備への入れ替えを順次進めていく。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	